

要保存

玄関ドア用電気錠仕様(電動サムターン) 施工要領書

この度は新日軽の商品をご採用いただきありがとうございます。

商品の組み立ておよび取り付けには、この要領書をよくお読みになり、正しく美しく仕上げてください。

同梱されている取扱説明書は、必ず施主様へお渡しください。

- ・本書には電気錠仕様になる場合の個有な事項のみを掲載しています。必要により各機器に同梱されている説明書も合わせてお読みください。
- ・電気錠システム機器には工事店様用取付説明書が同梱されております。必ず電気工事店様へお渡しください。
- ・本書には電気錠システムの作動不良時の対応方法が掲載してありますので、アフターサービスのために施工業者様で保管ください。

① 組み立ておよび取り付け上の注意

ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。

施工にあたって必ずお守りください。

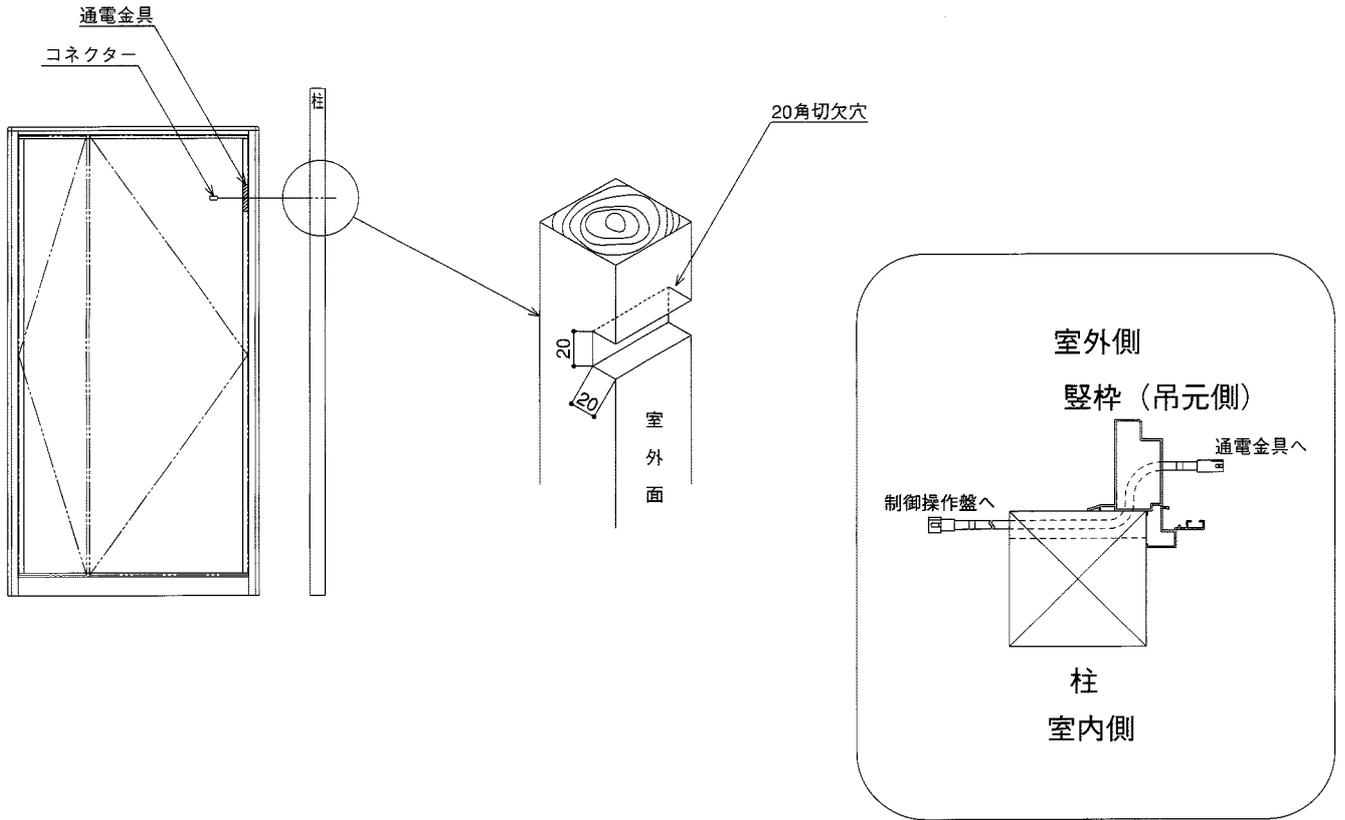
- ① 玄関ドア以外への転用および改造は行なわないでください。
- ② 指定の部品およびオプション品以外は使用しないでください。
- ③ ねじ止め・釘打ち箇所は指定してあるねじ釘を全て確実に止めてください。
- ④ 電気配線工事は、電気工事士の資格が必要ですので、必ず電気工事店様へご依頼ください。
- ⑤ 組み立て・取り付け及び電気工事完了後、正しく作業が行なわれたこと、開閉作動や施解錠が正常に行なうことができること、および、使用上の不具合がないか確認してください。

② その他の注意事項

- 工事期間中の扉の施解錠は、コンストラクションキーを使用し、下部シリンダーを通じ行なってください。
- 施主様へのお引渡しまでは、以下の点をご確認ください。
 - ① 電源が入っているか。
 - ② 室外からリモコン操作をした場合上下連動して施解錠できるか。
 - ③ 室外、室内からキーまたはサムターンを使って施錠できるか。
(この場合、上部操作時下部も連動しますが、下部操作時上部は連動しません。)
 - ④ 室外、室内からキーまたはサムターンを使って解錠できるか。
(この場合、上下の連動はありません。)
- 施主様へのお引渡しまでは確認時以外の電氣的操作を控えてください。

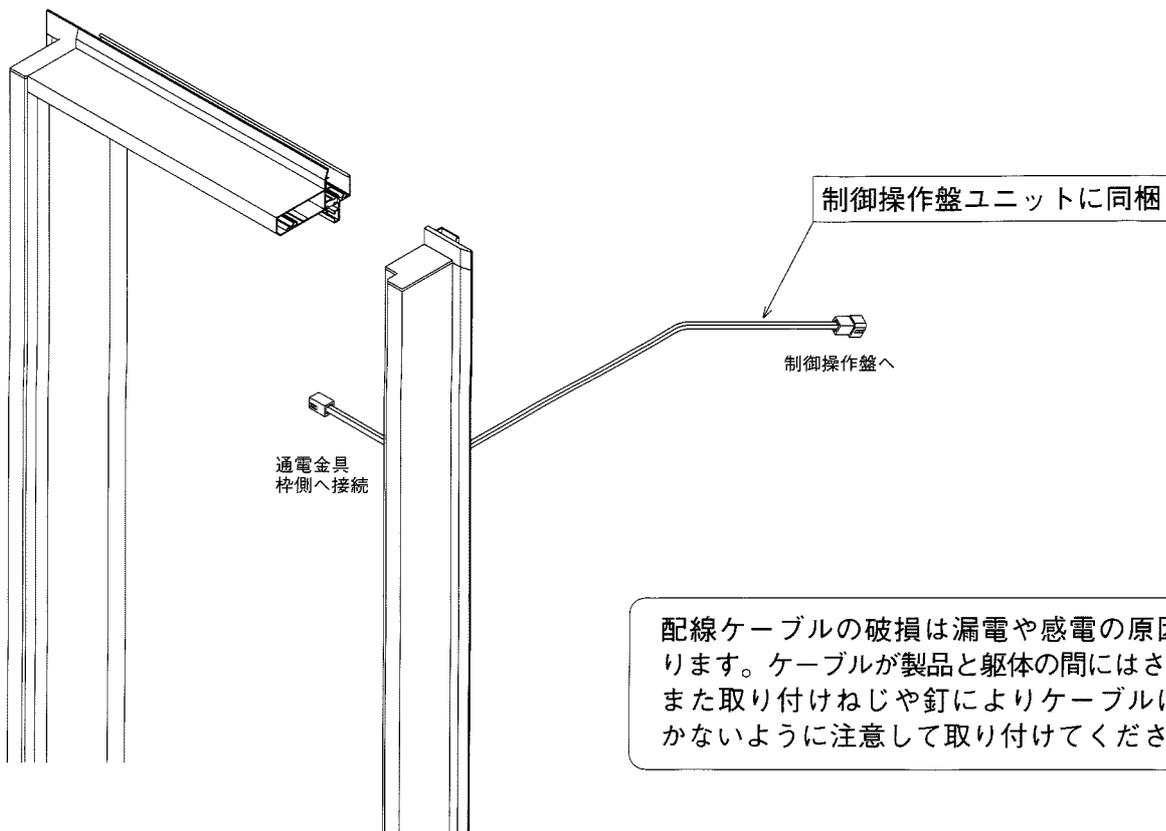
③ 配線ケーブル通線部の作製

- 枠を躯体に取り付ける前に、躯体に配線用の加工をしてください。
- 配線ケーブル通線部を、ドア枠の配線位置に合わせ、現物合わせで加工してください。
- 加工の際は、大きくならないように注意してください。



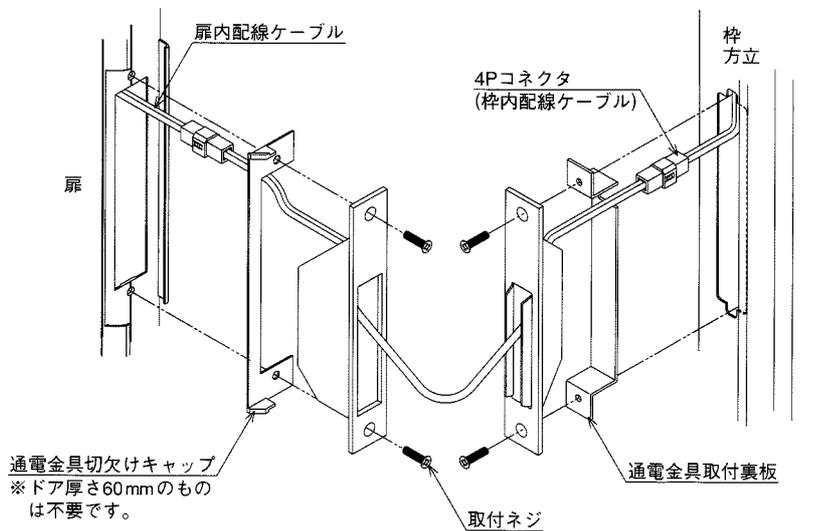
④ 配線ケーブル通線部への配線および躯体への取り付け

- ① ドア枠の配線位置と躯体の配線ケーブル通し穴が合っていることを確認してください。
- ② 室内側配線ケーブルを躯体通し穴、および縦枠吊元側通し穴に通してください。
- ③ 枠を固定してドアを吊り込んでください。



⑤ ドアの吊り込み後の配線（通電金具の取り付け）

- ① 堅枠から出ているコネクタ（室内配線ケーブル）と枠側通電金具のコネクタを接続し、ケーブルを堅枠内に押し込んで取り付け裏板にねじ止めしてください。
- ② 同様に扉配線ケーブルと扉側通電金具のコネクタを接続し、ケーブルを扉内に押し込んで、通電金具切り欠けキャップとともにねじ止めしてください。



コネクタは奥までしっかりと差し込んでください。差し込みが浅いと動作不良の原因となります。

⑥ 確認事項

取り付け工事完了後の確認事項

- ① システム設定が正しくされているか確認してください。
- ② 制御操作盤の電源ランプが点灯していることを確認してください。
- ③ 扉を開けたとき開扉ランプが点灯し、扉を閉めたとき開扉ランプが消灯することを確認してください。
- ④ ハンドルなどが軽く作動することを確認してください。
- ⑤ キーまたはサムターンで施錠・解錠ができることを確認してください。
- ⑥ ドアを閉めた状態で押しボタンの操作により、施錠・解錠ができ、解錠ランプが点灯、消灯、点滅状態になるか確認してください。
- ⑦ リモコン操作により、施錠・解錠ができることを確認してください。

⑦ 電気錠システムの作動不良対応

電気錠システムのトラブルは、主に以下の4点が挙げられます。

- ① 配線接続のミス。
- ② 電動サムターンの取り付けミス。
- ③ 機器の不良。
- ④ アルミ建具の取り付け不良。

トラブルについては、まずサービスチャートに基づいて原因を追求し、対応してください。
(対応できない場合は、新日軽にご相談ください。)

⑧ 点検チャート

作動不良があった場合、下図の「点検チャート」によりご確認ください。

